

「取れる資格はどんどん取って 成長やスキルを証明したい」

設備業の奥の深さを実感し 貢献できる人材を目指す

子どもの頃、現場の技術者だった父の仕事についていき、仲間と力を合わせてイキイキと仕事をしている様子を見て、現場の仕事に魅力を感じていました。高校は建築科でしたが、今の設備の仕事は似ているようで違うこともたくさんあります。戸惑いや不安もありましたが、現場代理人をはじめ、さまざまな経験をすることで設備業の奥の深さを実感し、やりがい

身につけた勉強のスタイルを 活かして複数資格の相乗効果を

長期にわたる勉強期間中、ずっと集中するのは難しい。私は日々の日建の授業と宿題をしつかりしながら、試験日の1〜2週間前からラストスパートをかけます。全体的には、過去問を2〜3周繰り返し、やるべきことを終わらせるのに1〜2週間程度の余裕をもってスケジュールを組んでいます。過去問をひたすら解き、つまづいた問題はテキストを見返して理解する。表やグラフ、図は自分で解説をつけながらノートにまとめるようにしています。

日建独自の合格メソッドや、多少

キャンプ、ツーリング、カメラ、サーフィンなどアクティブ系から、テーマパーク、アフタヌーンティー他エンタメ系まで多趣味。仕事も勉強も趣味も満喫している佐藤さんです。



感じるようになりまし。同時に、幅広い分野で確かな知識が必要なることを実感しています。現場でもっと貢献するため、仕事の幅を広げるために、資格取得は重要です。仕事をしながらの勉強は大変でも必要なスキルをどんどん身につけたいし、それを資格で証明したい。そのため、自分なりに仕事と勉強を両立させるスタイルを探っていました。

強制めの指導など、合格した先輩たちが「よかった」という言葉を信じて正解でした。どの資格勉強でも、具体的な資料を多用したり、実際の作業を映したりしながら解説してくれる映像講義やわかりやすいテキスト、過去問に助けられています。親身な担当さんや教室の環境など、私にとってモチベーションを保ち、勉強に集中できるものでした。中でも、昨日はわからなかつた問題が今日はわかること、自分自身の成長が感じられることが本当に励みになりました。

佐藤 天音さん

Amane Satou



More Voice

日々現場で勉強することが多く、自身の成長も感じられる仕事です。資格と経験の両方を積み重ねることで、スキルアップしていけるのも魅力です。1級管工事の資格も取得し、自分自身の意識を高く、より良いものにして会社や現場に貢献していきたい。合格に向けては、自分の勉強スタイルの確立が第一歩。それが見つけられたことを活かし、いろいろな資格に挑戦したいと思っています。

